

輪島市における 防災教育活動

WASEND～早大防災教育支援会～
代表・加藤一紀

輪島市防災教育活動

■ 日程

■ 活動場所 平成19年8月17日(金)～20日(月)

■ 活動実施経緯

■ 目的

■ 活動メンバー

■ 各WSの概要

17日(金)	午後	諸岡公民館	ワークショップ1	
18日(土)	午前	輪島公民館	ワークショップ2	
	午後	市立図書館	ワークショップ3	
19日(日)	午前	大屋公民館	ワークショップ4	
	午後	市文化会館	ワークショップ5	
20日(月)	午前	市教育研究所	ワークショップ6	

輪島市防災教育活動

■ 活動場所

石川県輪島市内の 公共施設



■ 日程

■ 活動場所

輪島市防災教育活動

■ 活動実施経緯

■ 目的

＜2007年＞

■ 活動内容

3月25日 能登半島地震発生

■ 各月の概要

5月 濱田教授から里先生を通じて
輪島市教育委員会へ活動申請と
計画案の提出

6月 輪島市教育委員会から
代替計画の提案

双方合意

→ ワークショップ形式の
防災教育活動の実施

当初の計画案

【主催者】

EWBJの理事

早大防災教育支援会(以下WASEND)

京大防災教育の会(以下KIDS)が合同で実施

【時期】

6～7月の中で5日間

【場所】

輪島市内の小中学校

代替計画案

- 児童生徒の心のケアの面から6～7月の実施は時期尚早
- 震源地に近い小中学校は入学式・始業式が遅れたこともありスケジュールに無理



- 小中学校の夏季休業日中に公民館活動の一環として
- 教職員や公民館主事の研修の一環として実施

輪島市防災教育活動

■ 目的

■ ●EWBJ

- 防災教育プログラムの向上
- 学生の支援を通じて防災教育の普及

●KIDS, WASEND

輪島市における防災教育活動を通じ、ネットワークの拡大を図るとともに、活動を社会教育分野へ展開・発展させる

●輪島市教育委員会

防災教育を学校教育・社会教育・家庭教育の一部として位置づけ、地域教育力向上に結びつける

輪島市防災教育活動

■ 活動メンバー

■ 各WSの

氏名	所属
濱田 政則	早稲田大学理工学術院教授
宮島 昌克	金沢大学大学院自然科学研究科教授
清野 純史	京都大学工学研究科准教授
塚本 俊也	東京外国語大学大学院客員教授
国崎 信江	危機管理アドバイザー
村田 庸介	KIDS
近藤 竜平	同上
叶 明子	WASEND
加藤 一紀	同上
増子 泰亮	同上
鬼山 亮	同上

輪島市防災教育活動

■ 各WSの概要

■ WS1

■ WS2

■ WS3

■ WS4

■ WS5

■ WS6

WS1

<防災研修>

- 日時: 8月17日(金) 14:00~16:00
- 場所: 諸岡公民館
- 対象: 公民館の職員
- 概要
 - ・塚本先生による避難所運営に関するご講演
 - ・宮島先生による教え方に関するご講演
 - ・清野先生による教え方に関するご講演
 - ・質疑応答

WS1

<ワークショップの様子>

■塚本先生によるご講演

- ・阪神淡路大震災におけるボランティア派遣の話
- ・配布資料
「避難所運営に関する留意事項と提言」を用いて
避難所を運営する際に留意すべき事項の確認
→自治体の人材は人を動かすコーディネーターになってほしい
→避難所運営で困ったことは？という問いに対し
「職員の血圧が異常にたかくなってしまった」という解答があった
- ・自治体として用意すべきマニュアルについて
→今回の配布資料をそのまま活用してほしい
→マニュアル作成ポイントとしてはお年寄りにもわかりやすいように図入りのものがよい



WS1

<ワークショップの様子>

■宮島先生によるご講演

- ・災害事例を写真で紹介
- ・石川県でも起こることを説明
 - 地震の発生確率と、火事や交通事故の発生確率の比較よりおこりやすさを認識してもらう
 - 地震の周期等理論的に説明をする
- ・石川県で起こったらどうなるか
 - 災害事例を交えながら説明
 - 講演も後半にさしかかり、退屈を避けるために、津波被害の動画を用い現実味をもってもらう
- ・どう対策したらいいか
 - 家具の配置や固定の仕方



WS1

<ワークショップの様子>

■清野先生によるご講演

- ・地震のメカニズムの教え方
→職員の方による実演
- ・プレートの動きの教え方
→職員の方による実演
- ・地震の発生の仕方の教え方
→職員の方による実演
- ・津波の発生の仕方の教え方
- ・避難する際の注意事項
- ・家庭での対策の仕方

パワーポイントによる講義と意見交換や質疑
応答、動画の使用、実践などを交えた内容



WS1

＜参加者の反応＞

公民館職員の方々の積極的な意見や質問

職員の方からの質問

「地震発生時に公民館で子供を集めてイベントを行っていた。地震発生後、どのタイミングで子供たちを外に出したらいいかわからなかった。どうすべきだったのか？」

WS2

<子ども防災研修>

- 日時: 8月18日(土) 9:00~12:30
- 場所: 輪島公民館
- 対象: 河合小学校の生徒19人
- 概要
 - ・自己紹介
 - ・導入
 - ・防災まちあるき
 - ・防災マップ作り

WS2

<ワークショップの様子>

■ 導入

- ・街中の危険な箇所の説明
- ・まち歩きルール説明



WS2

<ワークショップの様子>

■ 導入

- ・街中の危険な箇所の説明
- ・まち歩きの方法説明

■ 公民館の周りの決められたルート歩く

- ・小学生が消火器や看板の場所確認
- ・危険箇所の発見
- ・それらを写真で撮影してもらった

まちあるき地図



輪島公民館でのまちあるき



WS2

<ワークショップの様子>

■ 導入

- ・街中の危険な箇所の説明
- ・まち歩きの方法説明

■ 公民館の周りの決められたルート歩く

- ・小学生が消火器や看板の場所確認
- ・危険箇所の発見
- ・それらを写真で撮影してもらった

■ まとめ

- ・防災マップの作り方の説明
- ・1枚の模造紙に情報をまとめる
- ・各班で発表



Aコース

輪島公民館

ぼうさいマップ

Cコース

Bコース



WS2

＜参加者の反応＞

- ・導入段階で難語もあったが積極的に答えてくれた
- ・被災地ならではの回答があった
- ・普段歩きなれている街にある施設や設備、危険性を熱心に探そうとしていた
- ・皆顔見知りのためか仲良く参加していた

WS3

<輪島市立図書館絵本お話会>

■ 日時: 8月18日(土) 14:00~15:00

■ 場所: 輪島市立図書館

■ 対象: 輪島市内の幼稚園

保育園生及びその兄弟, 両親

■ 概要

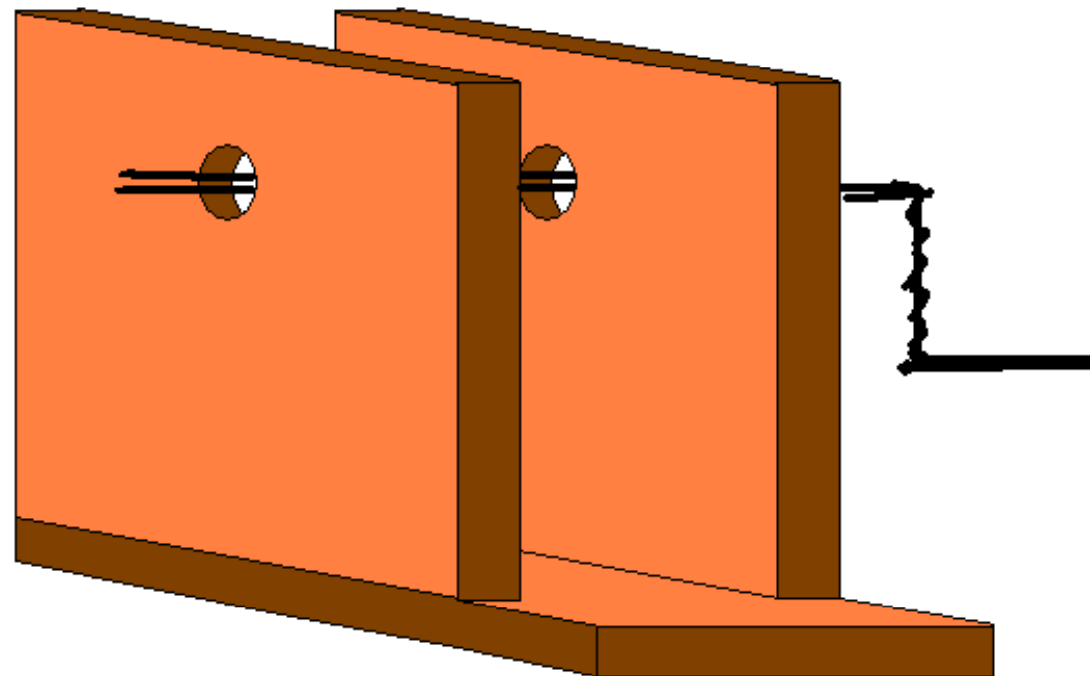
- ・あいさつ
- ・絵本「そなえる」の読み聞かせ
- ・歌遊び
- ・包帯作り

WS3

＜ワークショップの様子＞

- 危機管理アドバイザーの国崎氏による絵本「そなえる」の読み聞かせ
- KIDSによるダンゴムシのポーズの歌遊び
- シーツから包帯作りとメッセージの書き込み

包帯巻き機



サンアリーナの防災倉庫



WS3

＜参加者の反応＞

- ・読み聞かせでは子どもたちは積極的に手を上げてくれた
- ・ダンゴムシのポーズや包帯作りに関しては親も積極的に参加してくれた
- ・メッセージを書くことで、次に震災にあった時に怪我をした人を励ますことができる
- ・子どもたちの明るい絵やメッセージを見て図書館の人たちがすごく元気付けられたようであった

WS4

<親子防災教育研修>

- 日時:8月19日(日) 9:00~11:00
- 場所:大屋公民館
- 対象:30名(親子10組 高校生2名)
- 概要
 - ・わが家の防災マニュアル作り
 - ・防災クイズ
 - ・レクリエーション(歌遊び、伝言ゲーム)

WS4

<ワークショップの様子>



我が家の防災マニュアル
のテンプレートを各家族に
配布し、国崎氏が記入の
仕方を説明

学生がサポートに入り
家族ごとに話し合い、
記入していった



WS4

<ワークショップの様子>

防災クイズの様子



ダンゴムシのポーズ 伝言ゲーム等の レクリエーションの様子

もんだい2

^{こうえん}公園の^{こうしゅう}公衆トイレの
^{でんきゅう}電球がきました。

その^{ばしょ}場所は^{じょし}女子トイレの
^{まんなか}真ん中のトイレです。」

WS4

<参加者の反応>

- ・親子が一緒に防災について考える良い機会となった
- ・災害に遭遇したときの避難場所や連絡先の確認ができた
- ・遊びを通して楽しみながら体を守るポーズを学習できた
- ・一方でマニュアルが一部地域に即していなかった

WS5

<少年の主張輪島大会>

- 日時: 8月19日(日) 13:00~16:15
- 場所: 輪島市文化会館3階大会議室
- 対象: 少年の主張輪島大会の参加者
- 概要
 - ・ 濱田教授によるご講演
 - ・ 村田によるKIDSの活動紹介
 - ・ 加藤によるWASENDの活動紹介

WS5

<ワークショップの様子>

■ 濱田教授によるご講演

- ・世界と日本の自然災害の状況と地球温暖化
- ・自然災害を防ぐための対策と活動



WS5

<ワークショップの様子>

■KIDS代表村田氏による講演

- ・団体紹介
- ・教材の紹介
- ・防災に関してみんなが出来ること

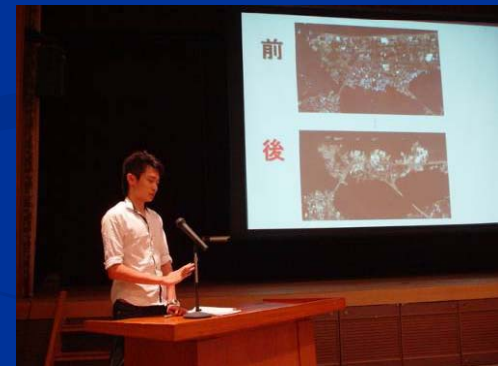


WS5

<ワークショップの様子>

■WASEND代表加藤による講演

- ・団体紹介
- ・教材紹介
- ・伝えていくことの大切さ



WS6

<防災研修>

- 日時: 8月20日(月) 10:00~12:00
- 場所: 輪島市教育研究所
- 対象: 地元の小中学校の先生
- 概要
 - ・塚本先生による学校の危機管理に関するご講演
 - ・塚本先生によるトラウマに関するご講演
 - ・まとめ
 - ・講義全体の質疑応答

WS6

<ワークショップの様子>

■塚本先生によるご講演

- ・学校の危機管理について
- ・トラウマについて
- ・まとめ
- ・質疑応答



WS6

＜参加者の反応＞

- ・一方通行でないワークショップであったため、実際に地震を体験した立場からの意見が多く出された
- ・災害時の対応を振り返るという意味で有意義な時間が作れた

活動全体を通して

- まちあるきでみつけた危険箇所
- 子どもが語った声（被災体験者の声）
- 定常業務が忙しいという理由で身近な問題としてあつかってもらえない
- 現地の子ども達は大学生とかかわる機会がない
- 対象が多岐に渡る中、めだったトラブルもなく
輪島市教育委員会様から期待以上の評価を
いただいた



地震の経験が活かされて

いないのでは？

今後の課題

＜輪島市教育委員会との意見交換にて＞

【最終目標】

公民館職員が講師として防災教育を実施できるようにしたい

【具体的な取組み】

- ・同じ内容ではなくステップアップしていけるような来年・再来年度のワークショップの実施
- ・来年度までメール等のやり取りを中心に情報の提供・講師による指導

謝辭

御清聴
ありがとうございました